

油配管の閉止蓋仮蓋に関する募集

【現状】

変圧器送油配管解体時、解体場所より速やかに配管を撤去する必要がある。その際、配管内残油の滴下防止の為に、ビニールシートや鉄板による仮蓋にて漏油養生を行った上で運搬している。

【問題点】

問題点1:

- ・ビニールシート養生では、輸送時などにビニールが破損した場合、漏油する懸念がある。
- ・鉄板による仮蓋では、作成・取り付けに手間と時間がかかる。配管の接続用のボルトに合わせ仮蓋を作成する方針もありうるが、長い配管の場合は途中で切断をする場合もあり、必ずしもボルトが使えるわけではない。
- ・解体した配管は2ヶ月程度は仮蓋をした状態で保管。
- ・配管内の残油は、配管に付着している程度。
- ・仮蓋取付時に漏油しないこと

問題点2:

配管は直径 30cm 前後であるが、サイズが異なるものが 10 種類程度存在しており、それぞれに合わせた蓋を用意することは困難。

- ・配管サイズは、最大 32cm～最小 10cm
- ・配管内部はフラットな円形



◀ 現在使用中の鉄板による仮蓋

問題点3:

1箇所での取り付けに必要な蓋の数は、多い時で 100 個程度。現行 1 つあたりの取り付けに 5 分ほど要しているが、できるだけ短時間で作業ができるようにしたい。

【募集ニーズ】

複数の配管の径などにフレキシブルに対応できる構造の漏油の発生しない仮蓋が作成できる企業を募集する。仮蓋はワンタッチで配管に着脱可能で、出来るだけ安価で使い捨てられるものとする。

【プロジェクト詳細】

< 制約条件 >

- 下記要求仕様をすべて満たす提案を対象とする
- ・複数の配管の径などにフレキシブルに対応できる構造であるもの
- ・ワンタッチで配管に着脱可能であるもの
- ・出来るだけ安価な物とし、使い捨てができるもの

○ 求める開発レベル

下記の開発レベルのうち、1～5 に該当すること。ただし、いずれの場合も、ご提案者様にてよる技術の提供または製造が可能な場合に限る。

- ▶ 5. 製品化・サービス化済み

- ▶ 4. 実証実験にて効果確認済み
- ▶ 3. 実証実験段階
- ▶ 2. 設計・開発段階
- ▶ 1. アイデア段階

<開発スケジュール>

2019年8月:パートナー選定

2019年12月頃:サンプルワーク/試作

2020年4月以降:実適用

<サプライヤー/パートナーに求める条件>

- ① 安価にソリューションが提供できること
- ② 試作・試験実施に対応可能であること
- ③ 経営状態が安定していること

<想定フロー>

- a. TEPCO CUUSOOにて製品をご提案いただく
- b. ご提案の内容・ミーティング等を通し、課題解決の可能性があると判断された場合、ご提案者様の製品を用いた実証実験を依頼
- c. 当該ケースと同様の環境下での実証実験にかかるカスタマイズ費用等は、ご相談の上、東京電力より提供いたします。(~100万程度を想定)
- d. 実証の結果、実適用を検討する場合、別途ご相談いたします。

【プロジェクト規模】

数量(イメージ):1箇所の作業につき、10~100個使用される。年間で当該の作業は10件前後発生。

価格:800円程度

【採用時の想定される契約形態】

委託発注 等

【応募期限】

2019年9月13日

※締め切りを延長しました(08月20日更新)

※応募期間・内容は予告なく変更する可能性があります。

※ご提案いただいた後、上記の期間中に、追加でご質問をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

【注意事項】

- 上記内容を必ずご確認ください。制約条件をすべて満たすご提案のみ、東京電力ホールディングス担当部署へ提供されます。
- 投稿フォーム内にて記載が必須となっている事項について、質問事項と異なる内容が記載されている場合、ご提案は東京電力ホールディングス担当部署へ提供されません。
- 画面下部の「投稿する」ボタンより投稿フォームへ移動し、ご提案を入力下さい。